

一般財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団 2020年度（令和2年度）事業報告書

（2020年4月1日～2021年3月31日）

一般財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団（以下、「本財団」という。）は、2020年2月3日に302名の拠出により一般財団法人としてスタートした。住民のチャレンジを下支えするために必要資源を分配するために、さまざまな地域資源を募り、新たな地域課題に気づき、行動する人が増え、自分たちのまちがより住みやすくなるように「温かいお金」が地域でまわるためのコーディネートの実証に取り組んだ。また、資源を集め、社会的事業に取り組む事業者への分配するための助成金の実施し、コミュニティ財団としての一歩を踏み出した。

2020年度事業全体の成果

事業開始の矢先、新型コロナウイルス感染症の拡大を発端とし、私達の社会や世界のあり方を一変した。感染拡大による影響を受けて困難を抱える人を対象にした市民の取組みが拡大しました。泉北地域に限らず、世界全体でその取組が求められた。そこで、大阪府に事務所を持つまたは活動しているNPO・NGOに支援を行う「みんな同じ空の下 私と地域と世界のファンド」を関西NGO協議会、大阪ボランティア協会、泉北のまちと暮らしを考える財団の3団体で立ち上げた。その結果、7,960,448円の寄附を募り、寄附を原資として助成プロセスへと移行し、支援総額から35団体に支援を実施した。

設立発起人（サムズ）からは、泉北地区の子どもたちを支える活動を応援するからはじめようという期待を受けて法人設立に至りました。そのために、泉北ニュータウンの子ども・保護者の実態を把握するためのアンケート調査から開始しました。4月と7月にモデル小学校で実施したアンケートでは、感染拡大に伴い社会的孤立を原因とする、子どもたちに様々な課題が生じていることがわかりました。さらに家でも学校でもなく、子どもが自分の居場所と思えるような活動は、縮小あるいは中止せざるを得ない状況です。そこで、泉北子ども未来基金では、子どもを支える居場所づくりや学習支援、心のケアなど、緊急支援活動を実施する団体（泉北ニュータウン・堺市中区・南区・和泉市及び上記外の大坂府で活動を行う団体）を、約70万円の資源を元に支援するプロジェクトとして2021年4月から公募を行い助成するプログラムの計画を実施した。

法人設立準備室に賛同いただいた設立発起人（サムズ）102名で整理した子どもを中心に地域課題解決を捉え、地域の子どもを支える居場所づくりや学習支援、心のケアを行う団体のネットワーク化を構想していた。その構想を堺市南区へ提案を実施した結果、

子どもたちがすこやかに成長できるよう見守っていくことを目的にしたプラットフォーム組織の検討を行っており、令和2年3月21日に堺市南区子ども応援プラットフォーム「ココ×カラ」が設立した。本事業年度では、堺市南区子ども応援プラットフォーム「ココ×カ

ラ」の発起人会が立ち上がり運営方法の議論を行い、財団が事務局へ就任することになり、連絡調整から資源の仲介を開始している。

1. プログラム開発・資金確保・事業化に向けた相談及び支援事業

(1) 泉北地区におけるコレクティブインパクト（社会課題解決の新しいモデル事業）の開発

新規助成事業の発掘、地域と時代のニーズを把握し反映した事業モデル開発のためコレクティブインパクトの手法を取り入れ、モデル事業を設定し、ニュータウンにおける課題解決事業への伴走支援を実施した。

①家事負担軽減の取り組み泉北流配食「おかず BOX」のコーディネーション

モデル小学校アンケート調査（2020年4月実施）での課題把握を元に、「家事をキッカケ」に家庭につながるアウトリーチ型子ども食堂実施へのアドバイスと校区での調整を支援した。

モデル地区	茶山台／竹城台東／福泉中央
成 果	平均 78 食／回・合計 501 食提供(2021 年 1 月現在)
協働の相手	おかずボックス発起人 竹城台団地寺子屋 福泉中央区民生児童委員 茶山台としょかん 特定非営利活動法人 SEIN

②泉北ニュータウンのコミュニティ活動を応援する拠点「泉北 LAB」計画の構築

事業実施に拠点整備が必要になり候補地を選定した

協働の相手	みどり学園大阪健康福祉短期大学堺・泉ヶ丘キャンパス 大阪府(NPO 等活動支援による社会課題解決認定事業)
内 容	①地域への寄附についての相談窓口の設置 ②泉北ニュータウンでの活動相談窓口の設置 ③フードパントリーの調理可能なシェアキッチン

③小学校区での地域円卓会議開催支援事業

小学校区での地域円卓会議開催サポートとアドバイスを実施した。

<ケース 1> よろず相談ネットワーク レインボー槇塚台

- ・住友ゴム CSR 基金助成への伴走支援
- ・大阪府地域包括ケアシステムプロジェクト型支援「大阪ええまちプロジェクト」へのマッチング

*レインボー槇塚台について・・・みんな住みよい地域になるように、誰もがちょっとした日常のしんどいことを出し合って、ご近所でさりげなく助け合いができるような仕組みづくりを目指している「よろず相談ネットワーク レインボー槇塚台」。泉北ニュータウンの槇塚台エリアで活躍する住民ボランティア・専門職の皆さん（連合自治会長、子ども食堂

運営者、就労継続支援 B 型作業所、介護福祉士、ケアマネジャーなど) が集まり、地域で生活する人々の困りごと・悩みごとを一緒に考えています。これまでに制度の間の出来事なども、住民さんの意思を尊重する形で協力し合って解決した事例も生まれています。

<ケース 2>団地版 ICT 見守りシステムの調査研究のサポート

情報通信研究機構と団地自治会による ICT の取組みについてアドバイスを実施した。

2. 助成、融資及び資源の提供事業

(1) 助成事業開発

助成金のオンライン申請など助成管理業務（募集・申請・選考・助成・実行・検証事業等）を実施した

①みんな同じ空の下 私と地域と世界のファンド

寄附総額 7,960,448 円

支援団体数 35 団体

②子ども未来基金

寄附総額 710,150 円

支援団体数 2021 年度に公募予定

(2) 他地域助成事業開発のサポート

全国コミュニティ財団協会準会員として、会員サポートを実施した。

①一般社団法人全国コミュニティ財団協会「47 コロナ基金」でのオンライン申請・運営サイトの設計支援

②一般財団法人くまもと SDGs 推進財団「熊本災害基金」にてオンライン申請システム構築の支援

(3) 助成事業の成果発表会の実施

緊急事態宣言及び大阪府新型コロナ感染拡大赤信号の影響で実施できず。

3. 調査研究・普及・啓発活動

(1) 調査・研究事業

下記、調査をサポートした。泉州子ども未来基金の開発のエビデンスを得られた。

① 小学校 PTA 第 1 回 子どもたちの暮らしについてのアンケート及び新型コロナ対策に関する子どもや保護者への影響について（大人アンケート）

回答数	小学生 53 名・保護者 89 名（児童数 217 名）
調査期間	令和 2 年 4 月 21 日～24 日・5 日間

② 小学校 PTA 第 2 回 子どもたちの暮らしについてのアンケート及び保護者アンケー

ト

回答数	小学生 9 ・ 保護者 51 名 (児童数 217 名)
調査期間	令和 2 年 7 月 15 日～ 22 日・ 7 日間

- ③ 堺市南区子ども応援プラットフォーム「ココ×カラ」緊急事態宣言下の活動実態調査

回答数	12 団体
調査期間	令和 3 年 2 月 1 日～ 21 日 3 週間

(2) 設立記念事業の実施

緊急事態宣言及び大阪府新型コロナ感染拡大赤信号の影響で実施できず。

4. 管理業務

(1) 法人業務

① 公益法人認定取得

持続可能な財政の確保のため寄附呼びかけを実施するも、新型コロナウイルス感染症の拡大による幾度の緊急宣言のため、安定的な収入につなげることができなかった。次年度は公益認定等委員会へ申請を行う。

② 理事会の開催

理事・監事の積極的な参加を得て、理事会の活性化を図った。

評議員会

日時	会議の種類	主な内容
2020 年 8 月 13 日	書面表決	第 1 号議案 令和元年度計算書類等の承認 第 2 号議案 理事増員の選任

理事会・監査等

通算	日時	会議の種類	主な内容
3	2020 年 4 月 22 日	第 1 回定例理事会	〔報告〕助成金申請結果 要望書提出 〔議決〕事業計画案について 公益法人化 今後のスケジュール ワーキングチーム設置
4	2020 年 5 月 27 日	第 2 回定例理事会	〔報告〕IT 見守りについて 〔協議〕報告書・決算書承認 私と地域と世界のファンド 子どもコレクティブインパクトについて

5	2020年6月24日	第3回定例理事会	<p>〔報告〕IT見守りについて HP立ち上げ</p> <p>〔協議〕私と地域と世界のファンド 子どもコレクティブインパクトについて</p>
6	2020年7月22日	第4回定例理事会	<p>〔報告〕私と地域と世界のファンド結果 第2回子どもアンケート 熊本水害支援の現地コミュニティ 財団支援 全国コミュニティ財団協会総会の 開催</p> <p>〔協議〕NDA締結 個人情報保護規定 子どもを中心としたコレクティブ インパクトの動き 助成金申請案</p>
7	2020年8月26日	第5回定例理事会	<p>〔報告〕私と地域と世界のファンド助成先決定 助成金申請報告</p> <p>〔協議〕子どもコレクティブインパクト基金設 置の準備</p>
8	2020年9月23日	第6回定例理事会	<p>〔報告〕私と地域と世界のファンド助成先決定 助成金入金完了 ICT地域見守りスキーム 子どもコレクティブインパクトの進捗 共有 子ども・保護者アンケートのクロス集計 報告</p> <p>〔協議〕子どもコレクティブインパクト基金設 置 持続可能な収入の確保について</p>
9	2020年10月28日	第7回定例理事会	<p>〔報告〕面会報告 団地コンバージョン事業報告</p> <p>〔協議〕プロジェクトの進め方の方針変更 休眠預金資金分配団体へのエントリー 「ココ×カラ」事務局引き継ぎ 47コロナ基金大阪／泉北基金の準備</p>
10	2020年11月25日	第8回定例理事会	<p>〔報告〕面会報告 「ココ×カラ」会議の開催</p> <p>〔協議〕泉北子ども基金のテーマ 休眠預金資金分配団体へのエントリー 財団事務所について</p>
11	2020年12月23日	第9回定例理事会	<p>〔報告〕「ココ×カラ」の進捗 休眠預金資金分配団体へのエントリー 泉北子ども未来ファンド開始</p> <p>〔協議〕事務所について</p>
12	2021年1月27日	第10回定例理事会	<p>〔報告〕「ココ×カラ」の進捗 〔報告〕「ココ×カラ」の進捗 泉北子ども未来ファンド報告 私と地域と世界のファンド報告・監査</p> <p>〔協議〕事務所について 助成金申請案件等 プラットフォーム参画について</p>
13	2021年2月24日	第11回定例理事会	<p>〔報告〕「ココ×カラ」アンケート報告 休眠預金資金分配団体通知 私と地域と世界のファンド報告・監査 助成金申請報告</p> <p>〔協議〕次年度上半期の動きについて 大阪府助成金申請 泉北子ども未来ファンド助成金</p>

14	2021年3月24日	第12回定例理事会
----	------------	-----------

プロジェクトミーティング

毎週1回担当理事・スタッフで事業構築の会議を開催。

2020年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。以上